

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	ナノデス・スカーレット	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.481	△RG	0.0499	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 **5 1/2** インチ

研磨剤

番

比較対象ボール：ナノデス・ブルー

フレアーの幅 インチ

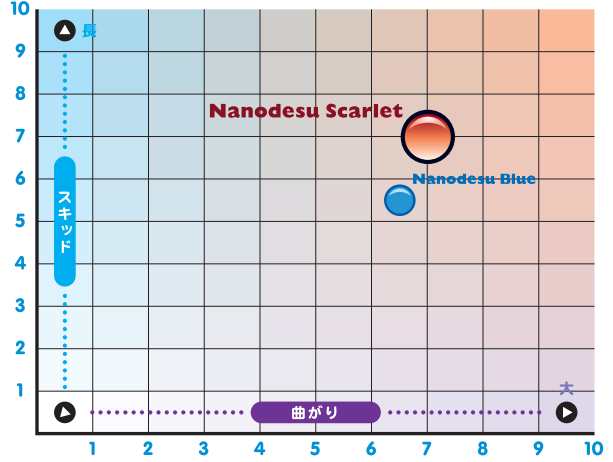
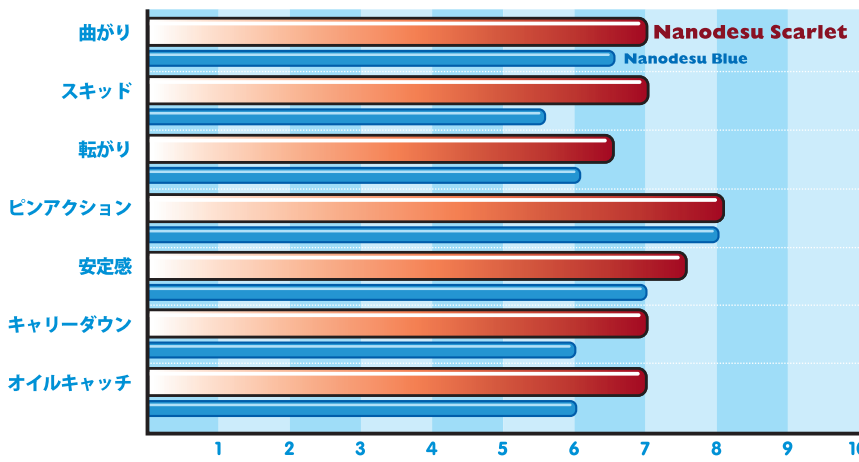
表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 **5 1/2** インチ

研磨剤

番



ボールの評価

今回のナノデスは、スベリ感のない心地よい転がり感と走り、バックエンドでのアグレッシブをコンセプトにカバーストックの配合を変更し、ナノ・フラーレンを調合いたしました。現行のナノデスブルーで使用されていたコアを今回のカバーストックとのコラボレーションでアグレッシブに動きのでるコアに変更し、今までのナノデスシリーズ中、最もメリハリのある運動特性をもったナノデスに生まれ変わりました。曲がり幅は大きく、ホッケースティックの曲がり。オイルを長く使用することにより、より切れ感は増し、強烈なりアクションを得ることが出来ます。今までのナノデスは緩やかなアーク状の運動特性のスペックが多く、大きく出して戻すライン取りではなく、タイトなラインを取らざるを得ませんでした。しかし、今回のスペックはエネルギーをロスしない転がりと走り、ドライ部分での反応の良さが伴って強烈なりアクションを生んでいます。次々と各メーカーから派手なりアクションのボールが発売される中、ナノデスに関して安定感とピンアクションは良いけれどもなりアクションに物足りなさを感じていた方も多いことでしょう。そんな声を反映しつつ国外のパフォーマンスに一步も引けを取らない一級品のナノデスが今回発売されます。このレッドは新たなナノデス・ブランド伝説の始まりです。

特記事項

テストにテストを重ね、アグレッシブなナノデスが仕上がりました。ピンアクションはそのままに、大きく出し戻すラインを取れるボール。このボールを使わずしてナノデスは語れないでしょう。